

GIFT+1 2024

～創立100周年に向けて～

国際紙パルプ商事株式会社



100周年に向けた『GIFT+1 2024』策定にあたって



KPPグループは2024年に創立100周年を迎えます。しかしながら、現在の延長線上で次の100周年を迎えることは極めて厳しいものと思われまます。つまり、当社のコア事業を支える紙・板紙産業は既に過渡期を迎えており、事業構造の転換を最優先課題として取組む時期が来ております。

即ち、これまで当社の成長を支えてきた原紙単独事業での収益モデルが限界に近づく中で、次世代に繋ぐ事業をどのように構築していくか、いわば踊り場の状況にあります。

これは素材産業全体にいえることでもあり、川上の商流であるメーカーの代理店業という業態を更に進化させた事業構造改革が喫緊の課題になっています。また、当社においては取扱商品の品種構成バランスが比較的「情報系」に偏っており「産業系、生活コミュニケーション系」に対する取組みも重要課題であります。これら国内事業の再構築と共に海外市場、中でも経済発展の著しい新興国に対する販売ネットワークの拡大も大きなテーマであります。

紙は有史以来、常に情報メディア産業をリードしてきたわけですが、近年におけるITの驚異的な進化によって今日では電子媒体と紙媒体の並存が常態化してきております。

このような厳しい経営環境の中にあって当社では新たな成長を求めべく、ここに長期ビジョン「GIFT+1 2024」を掲げました。基本となる経営課題を ①事業・営業領域 ②人材・教育領域 ③環境・社会貢献領域 ④財務・投資領域 の4つに分け、夫々の戦略をテーマ毎に強力に推進してまいります。

例えば、新事業に取組む前提として専門知識をベースとした営業（部分最適化提案）から、システム単位でプロデュースする営業（全体最適化提案）に進化させ、それに合わせた人材育成プログラムも取り入れます。結果、口銭という収益構造から、流通機能に付加価値を載せた利益体質の改善に取り組みます。また、海外比率向上のためM&Aも視野に入れ、海外事業の強化を図りビジネスフィールドを拡大したいと考えております。

株式の上場も自己資本比率の向上や資金調達が多様化の側面からみて継続検討案件としております。

また、不動産事業は好立地の八重洲ビルが加わり、その賃貸収入は経営基盤を下支えします。

我々は当社を取り巻く現実と正面から向き合い、KPPの更なる飛躍を実現するためにここに掲げた目標に向かって全力で取組んでまいります。



経営理念

1. **グローバル経営の充実と持続的な成長を目指します。**
2. **社員とその家族の幸福を追求するとともに株主・顧客・取引先・地域社会より信頼される企業を目指します。**
3. **循環型社会の実現と教育・文化・産業の振興に広く貢献します。**



国際紙パルプ商事グループ 企業行動指標



1. 「法令等の遵守」

国内外の法令・ルールおよびその精神を遵守し、社会規範を尊重した経営を行います。

2. 「公正・自由・透明な事業活動」

公正・公平・自由な競争に基づき、透明で適正な事業活動を行います。また、政治や行政との健全かつ正常な関係を維持します。

3. 「社会や取引先からの信頼の獲得」

社会の発展に幅広く貢献する有用な商品やサービスを提供するとともに、個人情報・顧客情報の保護に十分配慮し、取引先・ユーザーからの信頼を高めるため、誠実に行動します。

4. 「社会貢献活動の推進」

企業活動を通じて収益の社会への還元に努め、広く地域および社会の発展に貢献します。

5. 「積極的な企業情報の開示」

株主を含む全てのステークホルダーに対して企業情報を適切に開示し、社会との良好かつ積極的なコミュニケーションに努めます。

6. 「国際社会との共生」

国際社会の一員として、国際行動規範を尊重し、事業活動を通じてその地域の発展に貢献します。

7. 「職場環境の充実」

従業員の人格・個性が尊重される健康で働きやすい職場環境の確保により、従業員それぞれのゆとりと豊かさの実現を目指します。

8. 「自然環境との調和」

自然環境との共生・調和を図り、豊かな未来を共有できる社会の実現に貢献します。

9. 「反社会的勢力との関係遮断」

警察等関係機関との緊密な連携を保ちながら、全社結束して反社会的勢力との関係を遮断します。



環境方針

【環境理念】

国際紙パルプ商事株式会社は、地球環境の健全な保全が次世代以降に及ぶ人類の生存に関わる崇高な問題と認識し、自然環境との共生、調和を図り、持続可能な発展の実現に最大限の努力をいたします。従業員一人ひとりには我々に課せられた責務を共有し、会社の効果的な組織とマネジメントシステムの下、良き企業市民として地球環境の保全に向けて積極的に行動いたします。

【基本方針】

当社は紙の流通業として、洋紙、板紙、製紙原料、紙関連商品等の販売活動を通して環境負荷の低減に努め、以下の行動に基づいて資源の保護と循環型社会の構築に貢献します。

1. 当社は、その事業活動、販売する商品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、環境マネジメントシステムを構築して継続的改善を図るとともに、環境汚染の予防に努める。
2. 当社は、環境に関する法規制及び当社の同意するその他の要求事項を遵守する。
3. 当社の活動、商品、サービスに関わる環境側面のうち、以下の項目を環境管理重点項目として取組む。又、状況の変化に対応し見直しを行う。
 - 1) 古紙再資源化事業の推進、環境対応紙の販売促進、植林事業への参画、環境配慮型商品の提案型営業活動を推進する。
 - 2) 事業活動にともなうあらゆる資源の節約、消費エネルギーの削減に努める。
 - 3) オフィスから排出される廃棄物の削減、分別・リサイクルに積極的に取組む。
 - 4) グリーン購入を促進し、資源の保全に貢献する。
4. 当社はこの環境方針を達成するため、全従業員及び当社で働く全ての人に対し啓発・教育を行い、全社を上げて環境管理を推進する。

経営ビジョン



Globalization

グローバルに
ビジネスフィールドを
展開する



Innovation

“創紙力”で
未来を開拓する



Function

提案力・企画力で
付加価値を創造する



Trust

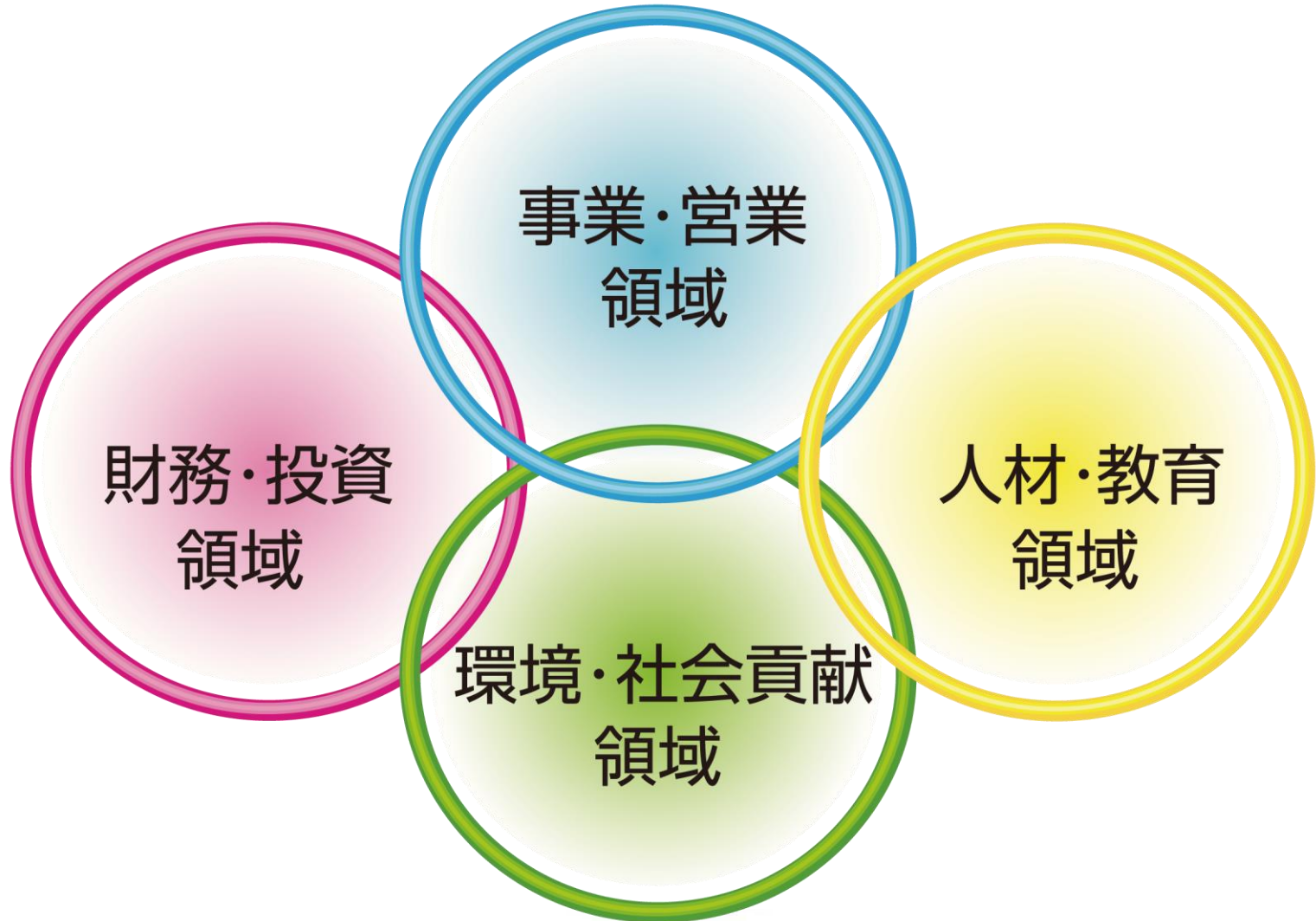
ステークホルダーの
信頼に応える



+1

当社グループは、この経営ビジョンのひとつひとつに環境への取組みを**+1**として加え、植林・環境配慮型商品の提案・古紙回収・再資源化等を通じ『循環型社会』の実現を目指します。

経営基盤強化における4つの領域



① 事業・営業 領域

- ◆ 海外事業領域の拡大
- ◆ 国内事業の再構築
- ◆ 新規事業の推進と新商品の開発
- ◆ ペーパーモールを基点としたWeb戦略の拡充
- ◆ 物流改革



○ 中国軟包装事業への進出・参画



○ 中国板紙事業への進出・参画



○ 「紙」の情報提供・ECサイト『ペーパーモール』

② 人材・教育 領域

- ◆ 採用人事の多様化
- ◆ 教育プログラムの拡充・人事評価制度の充実
次世代リーダー&グローバル人材の育成他
- ◆ 従業員エンゲージメント(会社への愛着心)の向上
- ◆ 継続雇用者の活躍促進
- ◆ 女性活躍推進の制度化



○ 新入社員研修



○ 豪州大永執務風景



○ 女性活躍推進セミナー

③ 環境・社会貢献 領域

- ◆ CSR経営の推進
- ◆ 環境関連商品の開発・拡充
- ◆ 再資源化事業の促進
- ◆ 事業継続計画(B C P)の確立



ecomomoシリーズ



タウンecomomo



オフィスecomomo



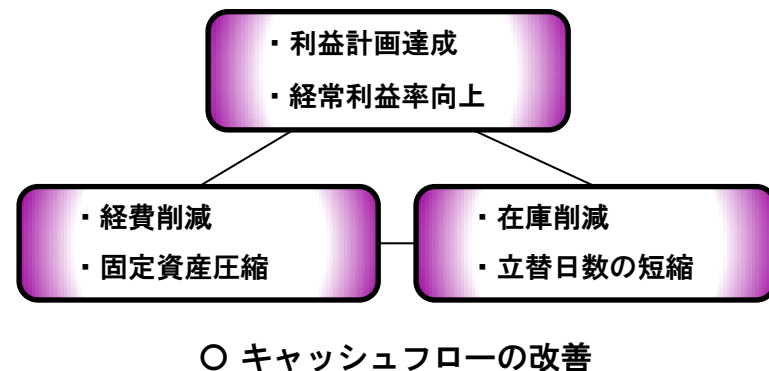
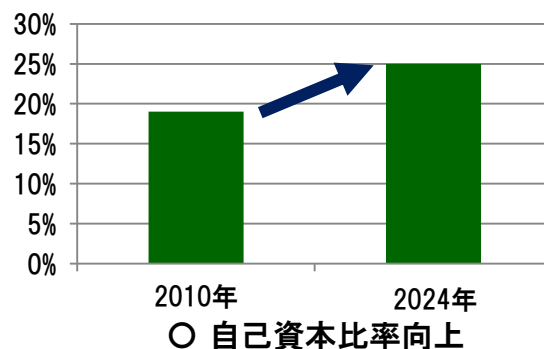
ecomomo LINCLE
市原センター
(機密文書処理施設)



○ 仙台七タ竹紙プロジェクト

④ 財務・投資 領域

- ◆ ROE目標：10%
- ◆ 自己資本比率目標：25%
- ◆ キャッシュフローの改善
- ◆ 投資戦略の推進
 - ◇ 海外事業投資 ◇ 国内事業再構築
 - ◇ 人財・物流・IT等インフラ投資



当資料は国際紙パルプ商事グループの中長期的な目標を示すため、会社に関連する見通しや計画・経営目標など、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、業績を保証するものではありません。
